



作業療法学科

田坂 翔太 助教

【研究分野】 発達期作業療法学 時間概念の発達に関する研究  
 【キーワード】 小児作業療法、発達障害、自閉スペクトラム症、肢体不自由、重症心身障害  
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=343tasa>



# 子どもの作業療法

## 研究概要

文部科学省の調査では「小学校・中学校で『学習面または行動面で著しい困難を示す』とされた児童生徒数の割合は8.8%」と報告されています。また、このように支援が必要な子どもたちが増加すると同時に保健、保育、療育、医療、教育の現場で作業療法士として必要とされる場面や求められる役割が拡大しています。

子どもを育み、社会へと羽ばたかせるために、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、保育所等訪問支援などの福祉サービスとその事業所数は充実しつつあります。作業療法士として子どもの発達を支え、子どもが子どもらしく生活できる地域づくりに貢献するために発達期作業療法について研究を開始しました。

## 講座テーマ紹介

1. 作業療法の視点を活かした障害のある子どもの理解（保護者向け・支援者向け）
  - ・作業療法士の視点で、子どもの行動の背景に対する理解の仕方をお伝えします。
2. 保育・療育・医療・教育の実際場面を伴う事例相談・事例検討（支援者向け）
  - ・施設を訪問し、作業療法士の視点で支援者と一緒に支援を検討します。
  - ・施設を利用している対応に悩む子どもについて一緒に支援を考えます。
3. 保育・療育・医療・教育の記録映像の視聴を伴う事例相談・事例検討（専門職向け）
  - ・施設を利用している様子を記録していただきます。
  - ・記録映像を視聴して、作業療法士の視点で支援者と一緒に支援を検討します。
  - ・施設を利用している対応に悩む子どもについて一緒に支援を考えます。

## アピールポイントなど

これまで私は、自治体の小児の診療所、児童発達支援センターで作業療法士として勤務し、子どもとその家族、支援者に関わること、保護者や支援者向けに研修会や学習会を数多く経験してきました。また、埼玉県内の子どもに関わる作業療法士のネットワークの構築を目指し、つながりを作ってきました。

今までの経験やネットワークを基盤として、子どもの発達と家族、支援者のために、地域貢献・研究活動につなげていきます。